

エコアクション 2 1

環境経営活動レポート

2023年度版

活動期間 2023年5月1日 ~ 2024年4月30 日



『自然豊かなこの環境を
未来へつなごう』



株式会社 新庄エレメックス

発行日 2024年8月21日



エコアクション21

認証番号0011239

目次

1. 環境経営方針	2
2. 会社概要	3
3. 実施体制図	4
4. 事業活動	5
5. 環境経営目標	6
6. 目標の達成状況	7
7. 環境経営活動の取組と評価	8～10
8. 環境提案活動の取組・環境法規制等の遵守状況	11
9. 代表者による全体の実績評価と見直し カーボンニュートラルへの取り組み	12

報告対象期間:2023年5月1日～2024年4月30日

環境経営方針

●基本理念

私たちは、「自然豊かなこの環境を未来へつなごう」を合言葉に、弊社における事業活動において、地球環境との調和をめざし、資源有効活用と環境汚染の防止に取り組み、企業としての社会的責任を果たし、産業界及び地域社会に貢献していきます。

●キャッチフレーズ

『自然豊かなこの環境を未来へつなごう』

●活動方針

- 1 当社の事業活動における環境負荷を低減するとともに、環境負荷にかかる経費の削減を行い経営の合理化と企業イメージの向上をはかり、企業の永続を目的に以下の項目を重点テーマとして取り組みます。
 - ① 地球温暖化防止(二酸化炭素排出量の削減)
 - ② 廃棄物の削減
 - ③ 製品への環境配慮
 - ④ 化学物質の削減と適正管理
 - ⑤ 水使用量の削減
- 2 国・地方自治体が定める環境関連法規制およびその他の要求事項を遵守します。
- 3 責任と権限を明確にした環境経営システムを構築し、継続的改善を行います。
- 4 全従業員に対して環境教育を行い、環境経営システムの周知徹底と環境意識の向上に努めます。
- 5 環境経営方針は、全従業員に周知し、社外からの要求に対し開示します。

制定:2016年 2月19日

改訂:2019年10月 1日

株式会社新庄エレメックス

代表取締役 松村 超一郎

会社概要

〔事業所及び代表者名〕

株式会社新庄エレメックス

代表取締役 松村 超一郎

〔所在地〕

本社・工場：〒996-0053 山形県新庄市大字福田711-36 新庄中核工業団地内

（＊本社・工場以外に事業所等はありません）



〔環境管理責任者氏名及び担当者連絡先〕

環境管理責任者 松田 英雄

環境管理担当者 中島 美貴

TEL:0233-23-1566

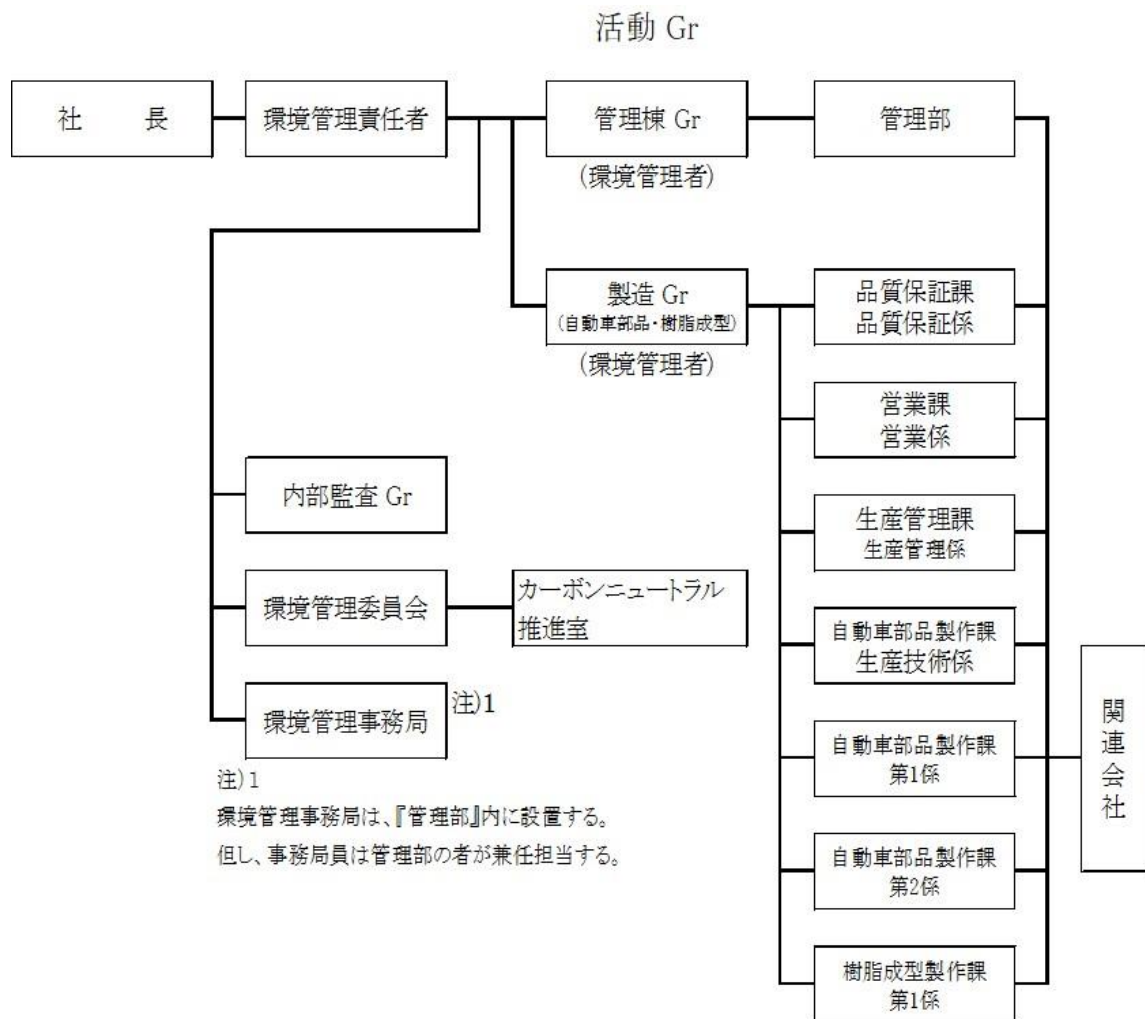
〔事業の規模〕

活動規模	単位	2021年度	2022年度	2023年度
売上高	百万円	2,848	2,622	2,281
従業員	人	107	104	97
床面積	m ²	10,300	10,300	10,300

〔認証・登録範囲〕

全組織・全活動を対象とします。

実施体制図



事業活動

時代の先端を行く「エレクトロニクス」と「メカニクス」この2大産業を社名の由来とする「新庄エレメックス」は、自動車用精密加工部品とイメージセンサー用樹脂成型部品の生産を2本の柱として、地域に根ざした生産活動を続けながら、世界市場に販売しております。

自動車用精密加工部品

サスペンション 構成部品



パワーステアリング (電動・油圧ポンプ) 構成部品



回生ブレーキ ECS (横滑り防止) ABS 構成部品



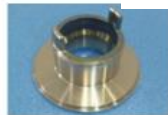
熱可塑性樹脂 (PEEK)



エアコン用 コンプレッサー 構成部品



トルクコンバーター 構成部品



EV用モーター 構成部品

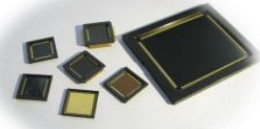


リンク機構構成部品



イメージセンサー用 樹脂成型部品

PLAPACS®



用途

DIGITAL STILL CAMERA



SECURITY



VIDEO CAMERA、等



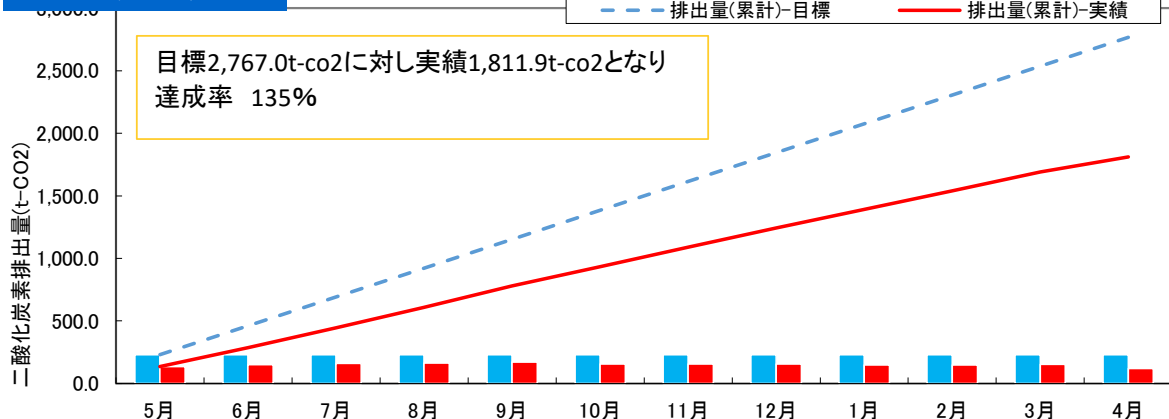
環境経営目標

管理項目		2023年度 目標値	2024年度 目標値	2025年度 目標値
二酸化炭素 排出量の 削減	電力	2,689.2 t-CO2	2,634.3 t-CO2	2,580.4 t-CO2
	灯油	72.8 t-CO2	71.3 t-CO2	69.9 t-CO2
	ガソリン	3.2 t-CO2	3.2 t-CO2	3.1 t-CO2
	軽油	1.8 t-CO2	1.8 t-CO2	1.7 t-CO2
	合計	2,767.0 t-CO2	2,710.6 t-CO2	2,655.2 t-CO2
廃棄物 排出量の 削減	可燃物	4.4 t	4.3 t	4.2 t
	不燃物	1.1 t	1.1 t	1.1 t
	紙類	8.8 t	8.6 t	8.4 t
	廃液	126.8 t	124.2 t	121.8 t
	プラスチック類	12.0 t	11.7 t	11.5 t
	木屑	8.2 t	8.0 t	7.9 t
	汚泥	4.4 t	4.3 t	4.2 t
	陶磁器屑	0.1 t	0.1 t	0.1 t
合計		165.7 t	162.3 t	159.1 t
節水	水使用量	14.1 Km ³	13.8 Km ³	13.6 Km ³
製品への環境配慮		不良品の廃棄量削減・・・歩留改善改善		
化学物質の適正管理		適正管理、監視強化		

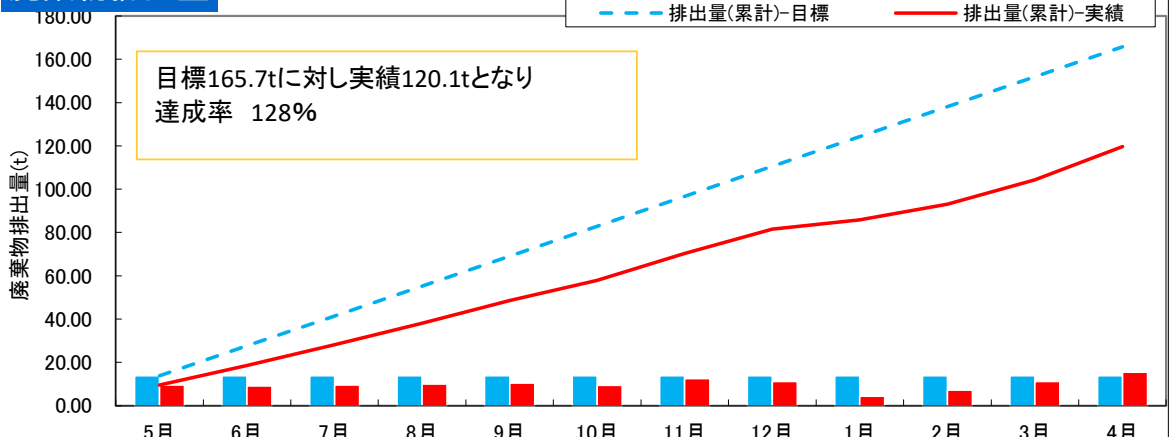
※電力の二酸化炭素排出係数は、東北電力2022年0.477を使用しました。

目標の達成状況

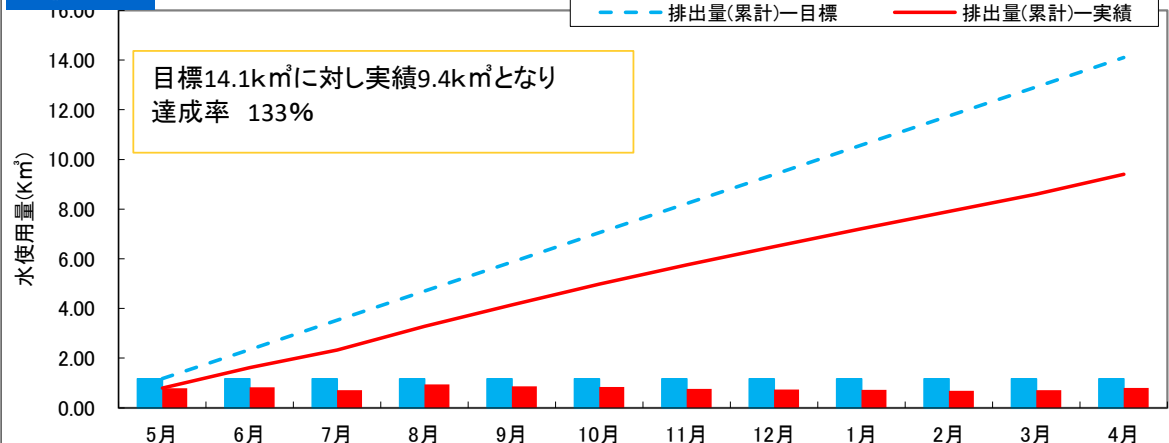
二酸化炭素排出量



廃棄物排出量



水使用量



環境経営活動の取組と評価

二酸化炭素排出量削減

No.	取組Gr			取組内容	評価
	樹脂成型	自動車部品	管理		
1			●	雑がみ回収強化（燃やすことで発生するCO2を削減）	○
2			●	リサイクルステーションLED化 ※途中計画変更：北側駐車場LED化	○
3			●	省エネ系補助金を活用した高効率設備への切り替えサポート（シャフト洗浄工程用パッケージエアコン更新）	○
4		●		2, 3工場(部品)蛍光灯のLED化	○
5		●		部品工場のエアー漏れ改善	○
6		●		3工場パッケージエアコンを省エネタイプ(省エネ率43%)に更新（省エネ補助金活用）	○
7	●			遮光スクリーンによるコンプレッサー・冷蔵庫・空調室外機の効率低下防止	○
8	●			フラックス洗浄養生による、排熱・薬品臭の拡散防止 室温影響2℃(平均)改善: 20Kw x 20%削減 x 15Hr/日 x 21日	○
9	●			水冷式コンプレッサー空冷インバータ入替えによる消費電力削減 75Kw: 負荷率60% 2台, 10Hr/日, 23日/月, 35%削減 概算: 6, 100KWh削減	○
10	●			クーリングタワー停止による電力削減（水冷コンプレッサ停止に合せ適用） 6. 9KW, 24Hr/日, 30日/月で 概算: 4, 970KWh削減	○
11	●			クリーンルームエアコンの入替えによる電力削減 現7. 4ー新2. 8=4. 6Kw, 24Hr/日, 30日/月で概算: 3, 312KWh 削減	○
12	●			ユーティリティ室内の防寒・凍結対策による(水冷式コンプレッサー停止) 凍結防止のため水冷式35kw常時稼働 ⇒ 防寒対策で無稼働化 (35kw×15h×21日)+(35kw×24h×8日)で概算: 17, 745kw 削減	○
13	●			モールド装置のエアー増圧弁によるエアー使用量の低減と安定化 ※圧縮エアーの廃棄削減とエアー圧不足によるエラー低減。 (現状: 2, 899kwh/年)ー(改善後: 1, 608kwh)で概算: 1, 291kwh/年 削減	○

取組結果

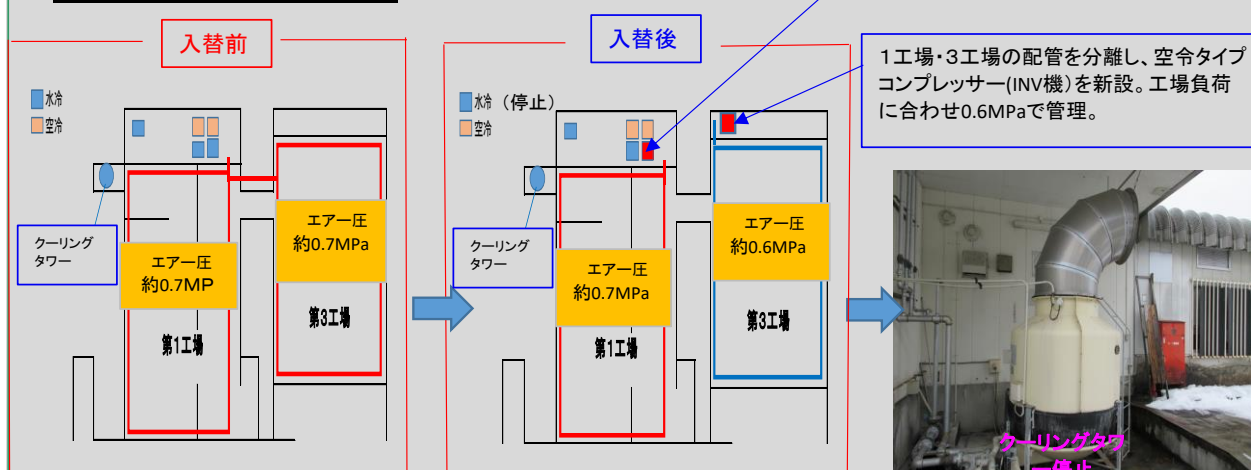
- ・目標(EA21)2,767t-co2に対し実績1,812.0t-co2となった。
- ・目標(CN)2,244t-co2に対しても達成。'23年度EMP取組項目による削減効果は約104t-co2。
- ・特に効果が大きい取り組みはNo.9コンプレッサー更新。No.10クーリングタワー停止が実現し、節水項目のNo.23工業用水削減にもつながった

次年度の取組内容

- ・'24年度の目標は、(EA21)2,711.0t-co2、(CNロードマップ)2,199t-co2。
- ・蛍光灯のLED化率は'23年度までの活動で70%弱まで実現しており、使用電力の固定分を低減させている。
- ・24年度以降の活動でも、使用電力の固定部分を低減させられる取り組みを検討し実施していく。

取組No.9・10

第3工場専用コンプレッサー入替



環境経営活動の取組と評価

廃棄物の削減

No.	取組Gr			取組内容	評価
	樹脂成型	自動車部品	管理		
14			●	雑がみ回収強化	○
15			●	紙のシュレッダーゴミ削減（機密文書の処分方法ルール化含む）	○
16			●	モバイル給与システム導入によるペーパーレス化（作業効率化含む）	○
17		●		空箱返却時のストレッチフィルム巻き廃止 56パレ/月 * 20m * 0.0093kg/m = 10.42kg (65,000ヶ=56パレ)	○
18	●			フラックス洗浄槽アルコール使用量の低減（ソフト変更）	○
19	●			フラックス洗浄アルコール使用量の低減（基板ジグ改善）	○

取組結果

- ・目標165.7tに対し実績120.1t。'23年度EMP取組項目による削減効果は約0.2t。
- ・当社の廃棄物排出量の大部分を占める廃液は、'22年実績107.4tに対し、'23年実績86.2tであった。

次年度の取組内容

- ・今後は、生産数に影響されにくい廃棄物、例えば不燃物や紙類などの廃棄物削減を強化していく。
- 具体的な対策として改めて3R(リデュース、リユース、リサイクル)を意識した廃棄物削減を強化して項目を増やします。

水使用量の削減

No.	取組Gr			取組内容	評価
	樹脂成型	自動車部品	管理		
20			●	節水意識啓発ポスター掲示	○
21		●		冷却チラー設定変更・排水制御による地下ピット冷却水排水の削減	○
22	●			クーリングタワー停止による工業用水使用量の削減 (水冷コンプレッサ停止に合せ実施) 2022/4~2023/3 BM 46m3/月	○

取組結果

- ・目標 14.1Km³に対し実績 9.4Km³。'23年度EMP取組項目による削減効果は約0.2Km³。
- ・No.23クーリングタワー停止による工業用水削減効果大。5月～11までの平均使用量101m³、12月以降は2m³。

次年度の取組内容

- ・大がかりな節水対策だけでなく、節水蛇口への切替も進めていく。

環境経営活動の取組と評価

化学物質の削減と適正管理

No.	取組Gr			取組内容	評価
	樹脂成型	自動車部品	管理		
23			●	PRTR法対象管理指定化学物質の適正管理	○
24			●	新しい化学物質使用監視強化	○
25	●			医薬外劇物の使用量／保管量管理(日常点検／記録にて継続管理)	○

取組結果

・'23年度のPRTR対象化学物質の年間取扱量は、PRTR法で定められた届出基準量未満であることが確認されました。

次年度の取組内容

・PRTR対象化学物質の排出や移動の管理だけでなく、化学物質が環境や健康、安全にどのような影響を及ぼす可能性があるか評価し、リスク低減措置を実施する。化学物質の適切な保管管理にも有効である。

製品への環境配慮

No.	取組Gr			取組内容	評価
	樹脂成型	自動車部品	管理		
26			●	カーボンニュートラル推進会議 ※環境に配慮した経営 (※'23年度CO2排出削減目標 45t- CO_2)	○
27			●	エコドライブ啓発ポスターの作成・掲示	○
28	●			会社及び家庭で役立つ環境基礎教育の推進	○

取組結果

・事業活動を通じて持続可能な社会の実現を果たすため カーボンニュートラルの取り組みを会社全体で推進している。
また、エコドライブの啓発活動にも力を入れ燃費向上とCO2排出削減を図りました。

次年度の取組内容

・毎日簡単に実践できるエコ活動(節電方法、ゴミ分別方法など)を掲示し社員に環境意識を高めてもらう活動も実施していく。

環境提案活動の取組

環境提案について

社員は毎月1件改善提案を提出する活動を行っています 環境・品質・安全・6Sに関する改善は特に評価されます。
下表は2023年度の環境提案です。

年月	サークル名	提案者	提案名称
2023年5月度	ネオバラエティーズ	伊藤さん	製品組付(洗浄用)リリフ再利用ジョーゴ作成
2023年6月度	ナイン	熊谷さん	立ちミーティング室照明用スイッチの位置変更
2023年7月度	CC-Mission II	芳賀さん	37kwインバーター機導入
2023年8月度	CC-Mission II	堀さん	フラックス洗浄溶剤持ち出し低減
2023年9月度	fresh	高山さん	ゴム手袋の使用量削減
	SOSO	金子さん	バレル機 待機電力削減
2023年11月度	ネオバラエティーズ	渡辺さん	内研不良再利用
	CC-Mission II	芳賀さん	増圧弁タンクの件
2023年12月度	ナイン	熊谷さん	通路協作業台のコーナーへ安全クッション取付
2024年1月度	ナイン	熊谷さん	NC工程用コンプレッサー排熱暖房用ダクト改善
2024年2月度	TSV	浅沼さん	スブライン加工切削油の使用量削減
	TSV	浅沼さん	油煙対策
2024年3月度	プチエクレーア	高橋さん	モバイル給与の導入
2024年4月度	SOSO	金子さん	P. I. D制御による電力削減

「増圧弁タンクの件」事例

改善前

カーボンニュートラルの取組で工場のエア圧力が低くても設備(0.4MPa)が稼働出来る様に取り組んだが、予備としているエアータンクは5ℓ・10ℓと容量が小さく使用できない状態であり、
エラー発生が62回/月あった



高圧エア供給



改善後

他部門で小さいが容量のある(約200ℓ)タンクがあった為これを活用するようにした。
0.4MPaで設備1台が稼働出来るようになった。
エラー発生0回/月になった

改善前エラー発生62回/月

改善後エラー発生 0回/月

▲1,291KWh/年 年間0.6t-co2

環境法規制等の遵守状況

2024年6月11日に環境事務局による環境法規制等の遵守状況を確認した結果、法令違反等はありませんでした。
また、外部から環境に関する苦情や訴訟等は1件もありませんでした。

適用される法規制等	適用される内容	遵守評価
水質汚濁防止法	特定施設の設置の届出、規制基準の遵守	○
廃棄物処理法	委託業者との委託契約、マニフェスト伝票の適正保管	○
PRTR法	指定化学物質の排出量及び移動量の把握、基準量を超える場合は届出	○
フロン排出抑制法	第一種特定製品の点検及び整備に係る記録簿の備付、廃棄する際は、第一種フロン類回収業者に依頼する、等	○

代表者による全体の実績評価と見直し

’23年度EA21活動は、EMPで計画した項目を推進し全体として目標が達成された。

’24年度の活動では、環境負荷の変化を加工高を分母とした原単位を実行値として評価していくこと。

カーボンニュートラルの取り組み

当社は、企業の社会的責任を果たす一環として環境問題に対する取り組みを一貫して続けています。

特に近年、地球温暖化対応として脱炭素とカーボンニュートラルの取り組みが世界的に重要性を増しています。カーボンニュートラルの実現は、単なる環境対策にとどまらず、コスト削減や競争力強化、社員の意欲向上にもつながり、企業の社会的責任をさらに深化させるものです。



**私達は2035年までに
カーボンニュートラルを達成します**

(株)新庄エレメックス

当社は、2035年までカーボンニュートラルを目指し、ロードマップを策定し達成に向けて積極的に取り組んでおります。